

倶多楽周辺の地殻変動

Crustal Deformations around Kuttara Volcano

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図から第3図は、倶多楽周辺におけるGNSS連続観測結果である。

第1図上段に基線の配置を、下段に図中に表示されている各観測局の保守履歴を示した。

第2図は、第1図に示した基線の基線長変化グラフで、左列は最近約5年間（2014年1月～2019年1月）の時系列、右列は最近約1年間（2018年1月～2019年1月）の時系列である。

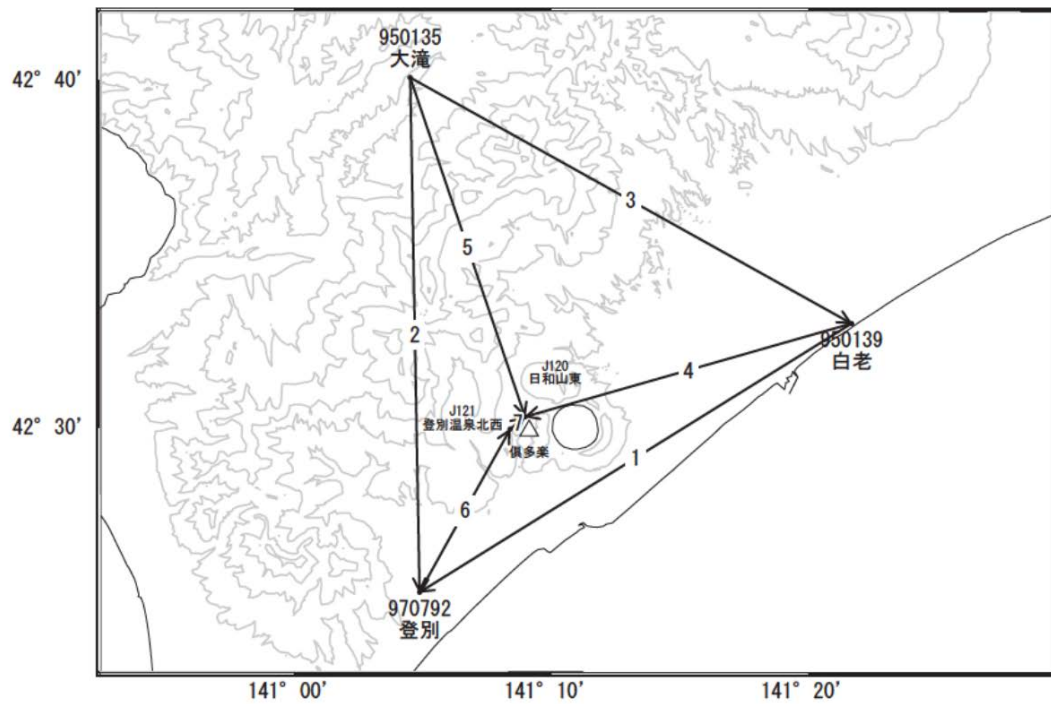
第3図は、倶多楽周辺の電子基準点及び気象庁GNSS観測点の統合解析から得られた水平変動ベクトル図であり、「伊達」を固定局とした最近1年間（2018年1月～2019年1月）の水平変動を示した。2017年夏頃から、倶多楽を取り囲む基線でわずかな伸びが見られる。

第4図は、「だいち2号」のSAR干渉解析結果である。ノイズレベルを超える変動は見られない。

謝辞

ここで使用した「だいち2号」の原初データの所有権は、JAXAにあります。これらのデータは、「だいち2号」に関する国土地理院とJAXAの間の協定に基づき提供されました。

倶多楽周辺GEONET(電子基準点等)による連続観測基線図

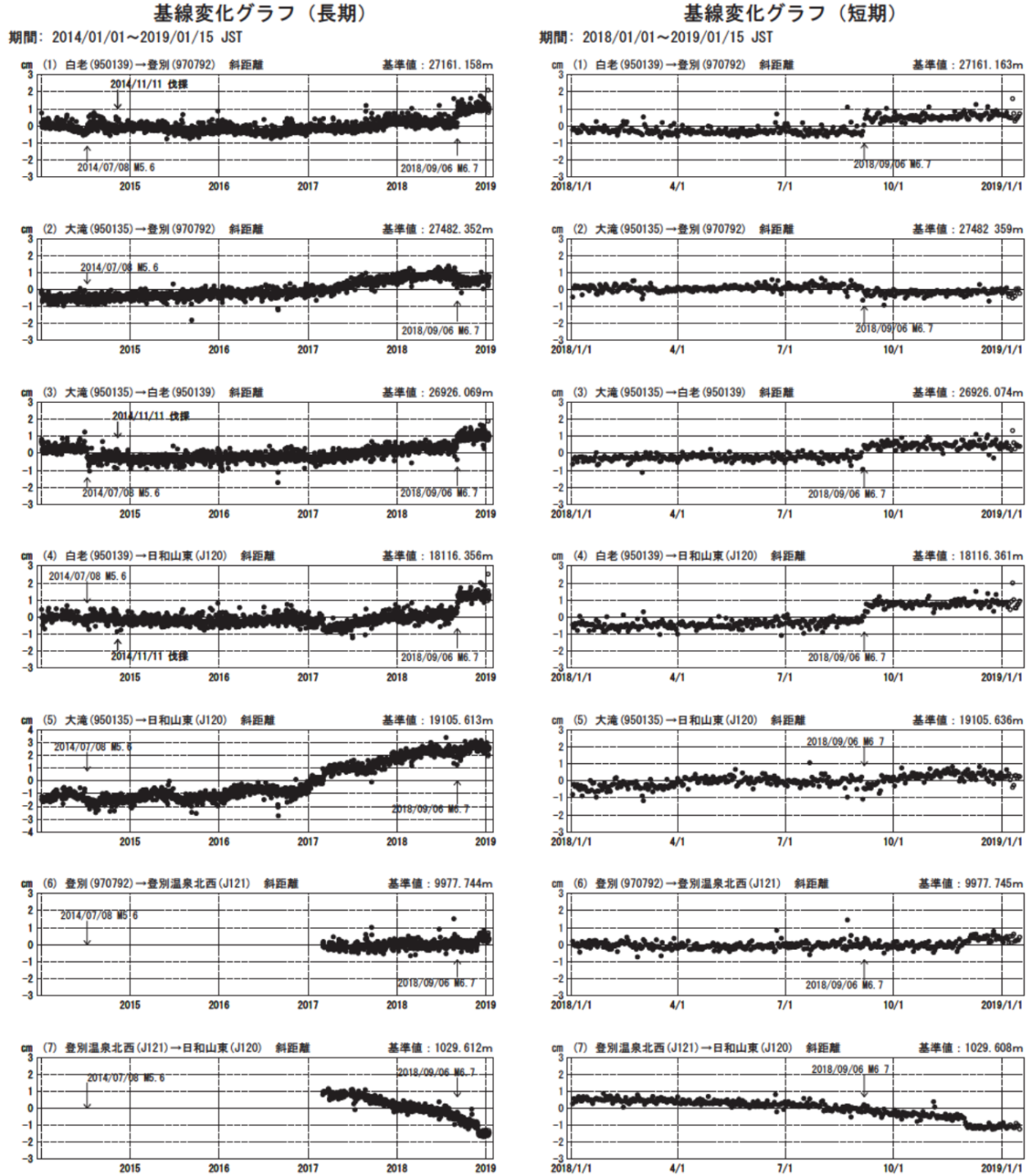


倶多楽周辺の各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
950135	大滝	20171121	受信機交換
950139	白老	20141111	伐採

第1図 倶多楽周辺のGNSS連続観測基線図(上段)と観測局の保守履歴(下段)

Fig.1 (upper) Site location map of the continuous GNSS observation network around Kuttara Volcano; (lower) History of site maintenance.



※[R3:速報解]は暫定値、電子基準点の保守等による変動は補正済み

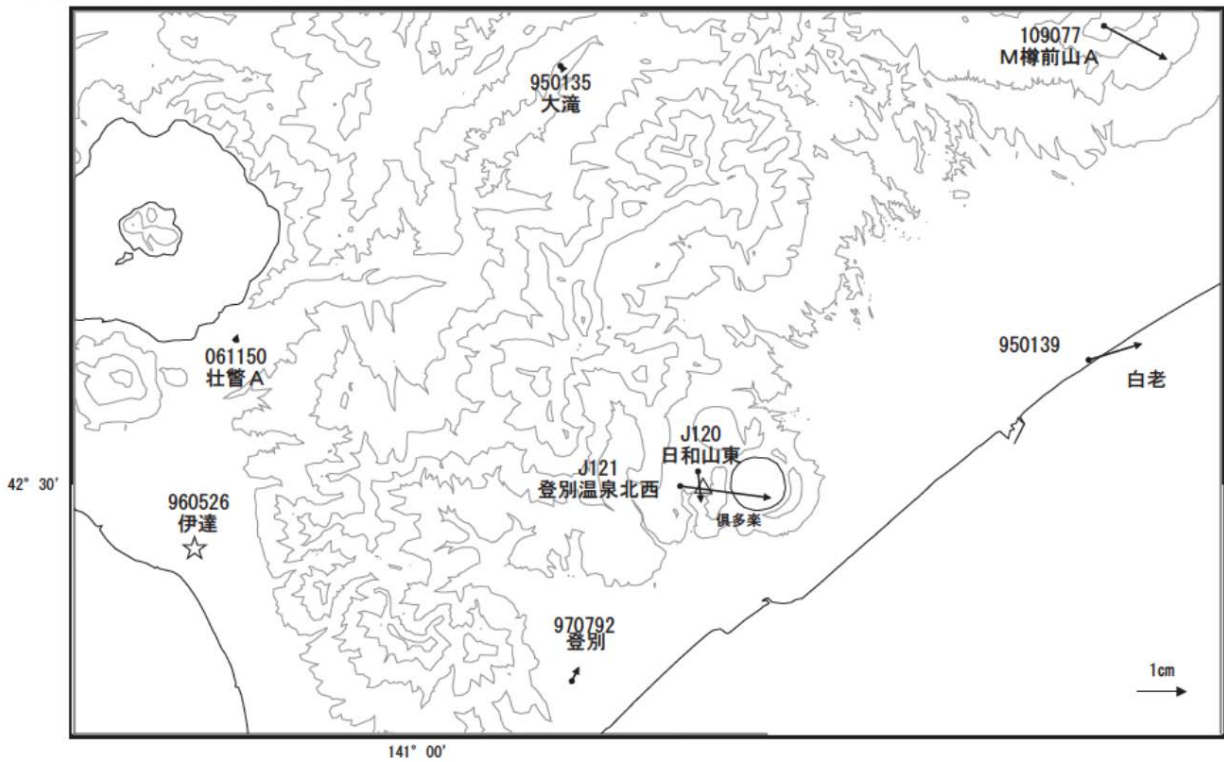
第2図 倶多楽周辺のGNSS連続観測による基線変化グラフ

(左列: 2014年1月~2019年1月、右列: 2018年1月~2019年1月)

Fig.2 Time series of baseline length continuous GNSS observation around Kuttara Volcano; (left) from January 2014 to January 2019, (right) from January 2018 to January 2019.

倶多楽周辺の地殻変動(水平:1年間)

基準期間:2018/01/06~2018/01/15[F3:最終解]
比較期間:2019/01/06~2019/01/15[R3:速報解]

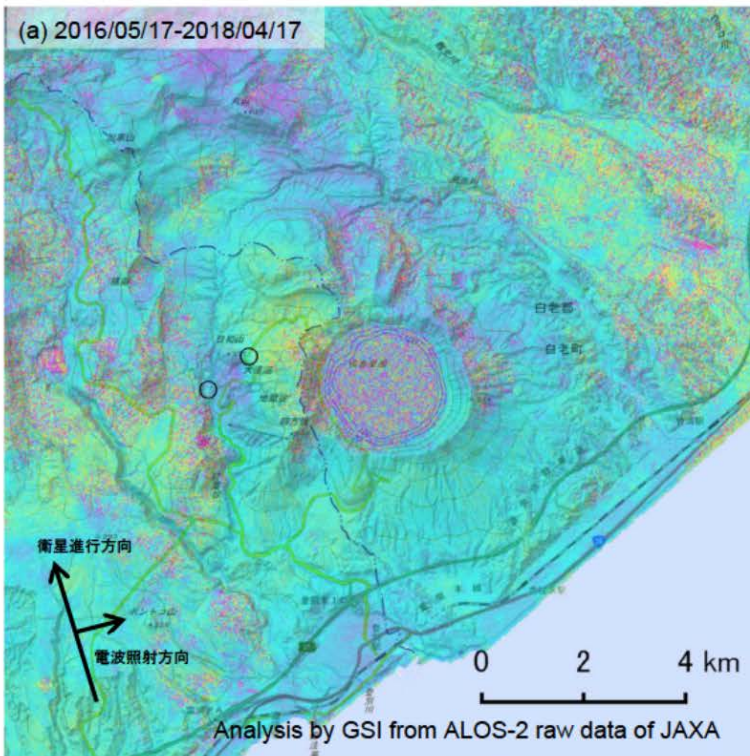


☆ 固定局:伊達(960526)

国土地理院・気象庁

第3図 倶多楽における電子基準点・気象庁GNSS観測点の統合解析による水平変動ベクトル図
(2018年1月~2019年1月)

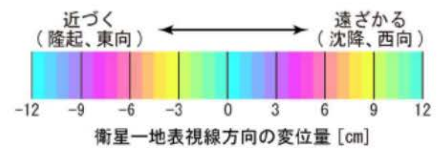
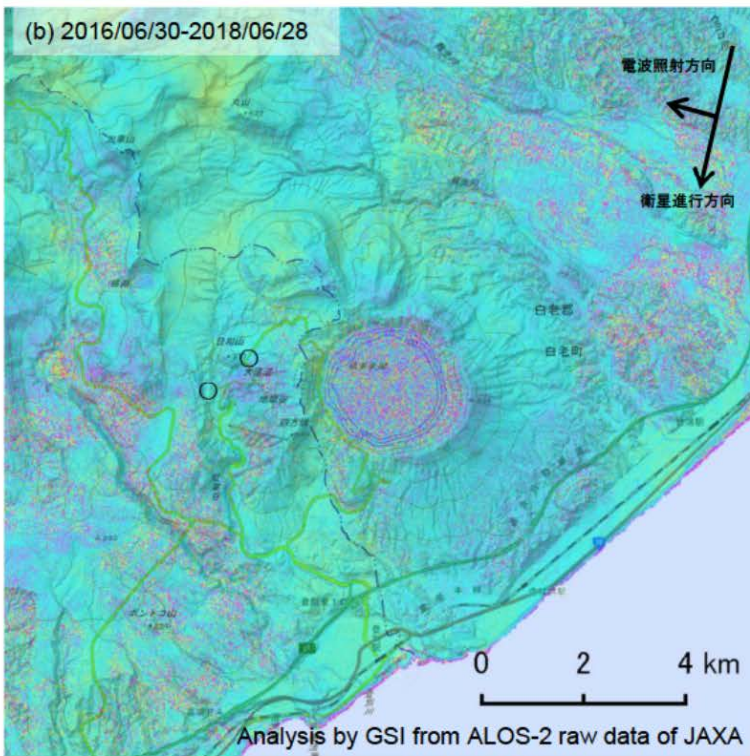
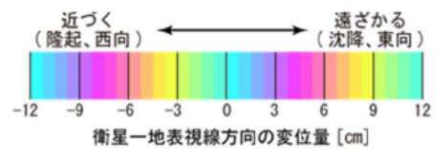
Fig.3 Horizontal displacement of GEONET and JMA stations by the combined analyzing system around Kuttara Volcano from January 2018 to January 2019.



	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2016/05/17 2018/04/17 23:33 頃 (700 日間)	2016/06/30 2018/06/28 11:41 頃 (728 日間)
衛星進行方向	北行	南行
電波照射方向	右	右
観測モード*	U-U	U-U
入射角	44.3°	39.8°
偏波	HH	HH
垂直基線長	+133 m	-9 m

*U: 高分解能(3m)モード

○ 国土地理院以外の GNSS 観測点



背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

第4図 「だいち2号」PALSAR-2による倶多楽周辺地域の解析結果
Fig.4 SAR Interferograms of ALOS-2 PALSAR-2 around Kuttara Volcano.